

# カリキュラム

# カリキュラム

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	5 年次	6 年次			
<p>医学に必要な基礎知識を積極的に身に付けます。</p>	<p>医学の基礎的知識を身に付け、医学、医療の発展に貢献することの必要性を理解します。</p>	<p>基礎医学から臨床医学へと学びが進みます。</p>	<p>いよいよ実技トレーニングを開始診断と治療の基本を学びます。</p>	<p>病棟の診療チームの一員として患者さんの治療に参加します。</p>				
<p><b>医学英語</b></p>								
<p><b>一般教養</b></p> <p>生物や英語といった科目をその後の医学教育にスムーズに活かせるよう、医学的要素を含んだ教育内容で学びます。また、履修科目や受験科目の関係上、生物を履修してこなかった学生のために「基礎生物学」などの未履修者向けの科目を配置しています。</p>			<p><b>臨床実習</b></p> <p>臨床実習は Clinical Clerkship と呼ばれ、実際の医療現場で患者さんの接し方や診断・治療法などを学びます。4 年次は医療環境や病気の予防といった周辺領域についての実習と内科や外科等の主要診療科で診療の基本に関する実習を行い、5 年次では 1 グループ 3 名程度の少人数で 1 年間かけて付属病院等を含めた全診療科で実習を行います。また、6 年次では学内だけでなく学外でも Clinical Clerkship を行います。</p>					
<p><b>基礎医学</b></p> <p>人体の基本的な構造・機能を解剖学、生化学、生理学、薬理学といった学問体系別に集約して効率よく学びます。</p>			<p><b>社会医学</b></p> <p>医療環境や病気の予防、法医学など、社会と医療の関係について学びます。</p>					
<p><b>授業科目</b></p> <p>1. 全学共通教育科目 (※)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主創造の基礎 (2)</li> </ul> <p>2. 一般教育科目 (※) (I 群)</p> <p>A 人文社会科学系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医系人文科学入門 (2)</li> <li>医系社会科学入門 (2)</li> </ul> <p>B 自然科学系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生体分子科学 (2)</li> <li>生体理工学 (2)</li> <li>数理科学 (2)</li> <li>基礎生物学 (2)</li> </ul> <p>C 総合科学系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学際的研究 (2)</li> </ul> <p>D 国際文化学系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドイツ語 (1)</li> <li>韓国語 (1)</li> <li>中国語 (1)</li> <li>フランス語 (1)</li> </ul> <p>(II 群)</p> <p>A 人文社会科学系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生命倫理学 (2)</li> <li>医療法学 (2)</li> <li>健康・身体教育学 (1)</li> <li>スポーツトレーニング (1)</li> <li>情報科学 (2)</li> <li>行動科学 (2)</li> </ul> <p>B 自然科学系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然科学実習・演習 (2)</li> <li>医系生物学 (3)</li> <li>数学・生物統計学 (2)</li> </ul> <p>C 総合科学系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医学序論 (2)</li> <li>数理生命科学基礎 (2)</li> </ul> <p>D 国際文化学系</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語 1 (1)</li> <li>英語 2 (2)</li> </ul> <p>3. 専門教育科目 (総時間数)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>解剖学 I (含実習) (88)</li> <li>生理学 I (22)</li> <li>生化学 I (含実習) (22)</li> </ul>			<p><b>臨床医学</b></p> <p>医学の最も実践的な分野である臨床医学を、PBL テュートリアルと学系・分野の枠にとらわれない統合型講義のハイブリット形式で学びます。</p>					
<p><b>授業科目 (授業時間数)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床心理学 (1) (※)</li> <li>英語 3 (2) (※)</li> <li>英語 4 (2) (※)</li> <li>解剖学 II (含実習) (135)</li> <li>生理学 II (含実習) (87)</li> <li>生化学 II (含実習) (67)</li> <li>薬理学 (含実習) (61)</li> <li>微生物学 (含実習) (52)</li> <li>免疫学 (含実習) (22)</li> <li>病理学 (含実習) (75)</li> <li>発生生殖医学 (22)</li> </ul> <p>※上記科目評価のほかには次の試験を行い、進級を判定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基礎医学統合試験</li> </ul>			<p><b>授業科目 (授業時間数)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>英語 5 (2) (※)</li> <li>臨床医学総論 (70)</li> <li>呼吸器・胸壁・縦隔 (105)</li> <li>心臓・脈管 (140)</li> <li>消化器・腹壁・腹膜 (175)</li> <li>血液・腫瘍 (70)</li> <li>神経・運動器 (140)</li> <li>内分泌・代謝・栄養・乳腺 (105)</li> <li>アレルギー・膠原病 (35)</li> <li>腎・泌尿器・生殖器 (175)</li> <li>先天異常・周産期・成長・発達 (70)</li> <li>精神医学 (70)</li> <li>救急医療 (35)</li> </ul>					
			<p><b>授業科目 (授業時間数)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医学英語 (10) (※)</li> <li>皮膚・頭頸部 (140)</li> <li>感染性疾患 (105)</li> <li>公衆衛生学 (45)</li> <li>衛生学 (22)</li> <li>法医学 (22)</li> <li>医療管理学 (22)</li> <li>社会医学演習 (70)</li> <li>clinical skills training 1 (196)</li> </ul> <p>■ 自由選択医学研究 1 (140)</p> <p>■ 自由選択医学研究 2 (33) ※選択科目</p> <p>■ 初期 clinical clerkship (420)</p> <p>※上記科目評価のほかには次の試験を行い、進級を判定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共用試験 CBT</li> <li>共用試験 OSCE</li> </ul>			<p><b>授業科目 (授業時間数)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>clinical clerkship1 (420)</li> <li>clinical clerkship2 (455)</li> <li>clinical clerkship3 (343)</li> <li>地域中核病院実習 (35)</li> </ul> <p>※上記科目評価のほかには次の試験を行い、進級を判定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学力統一試験</li> </ul>		
			<p><b>授業科目 (授業時間数)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>clinical skills training 2 (56)</li> <li>社会医学臨床実習 (35)</li> <li>選択臨床実習 (735)</li> </ul> <p>※上記科目評価のほかには次の試験を行い、進級を判定する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学力統一試験</li> <li>Post-CC OSCE</li> </ul>					
			<p><b>カリキュラムの主な概要</b></p> <p>6 年間かけて、一般教育、基礎医学、臨床医学、社会医学の各分野を総合的に学修します。1 年次では、「医学序論」・「自主創造の基礎」や多彩な選択科目を配置して医師を目指す者としての使命感・倫理観を学び、1 年次後半からの基礎医学では、人体の構造と機能を学系分野別に学修します。3 年次から 4 年次前半にかけては従来の知識伝達型の講義ではなく、学生自ら問題点・解決法を抽出していく PBL テュートリアルを導入して臨床医学を学びます。これにより、自分で考え、自分で問題点を抽出し、解決に向けて努力するという学修習慣を定着させ、4 年次後半から開始される臨床実習に備えます。また、4 年次には、研究室に配属されて研究に取り組むことで、探究心を養います。臨床実習では、医療チームの一員として、教員の指導のもとに医療行為を行う診療参加型実習を行います。6 年次では、選択臨床実習を設け、学生の自発的な学修意欲を醸成します。</p>					
			<p><b>履修について</b></p> <p>医学部の授業は「学年進級制」であり、留年した場合は当該学年の全授業科目を再履修します。授業科目は 1 年次・4 年次の選択科目を除き、すべて必修科目です。1・2 年次では、一般教育と基礎医学の科目を設置し、さまざまな角度から人間理解を深め、臨床医学を学ぶ上で必要な知識を蓄えます。3 年次～4 年次前半では、生体と病態について学修した基礎医学を基に、診断や治療に関する専門知識及び技能を臨床医学や医療の社会的な側面を学ぶ社会医学を学修します。4 年次後半から開始される臨床実習では、学生は『Student doctor』と呼ばれ、教員の指導のもと患者さんに接しながら基本的臨床技能、現場での思考法、さらに態度を含めた医師としての能力を総合的に学んでいきます。</p>					



※詳細は HP をご覧ください。